



内田 勇 議員

里山再生の取り組み強化を

町長

国の交付金も活用しながら、町独自の支援制度を検討したい



問 里山がきれいに整備されている姿は、とても美しく心豊かになる。

答 奥出雲を訪れた観光客の心を引きつけるのは、まず目に入る里山の姿である。先般の豪雨による災害等も里山再生の取り組み強化が重要であり、竹林や雑木の伐採プロジェクトの検討を。

答 竹林の整備からまず手をつけてもらうよう竹のチップ化、粉末化の機械装置を9地区に入れたが稼働状況が極めて悪いので、稼働するような仕掛けを何とかつくりたい。国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金も活用しながら町独自の支援制度も検討したい。

問 今年度も事業が進め

られているオロチの深山きこりプロジェクトに、森林整備をさらに加速するための更なる支援を。

答 今年度は、このプロジェクトに25名が登録され95トンの間伐材が出荷された。昨年は1年間で138トンであり、亀嵩温泉佐白温泉で使用する切削チップの総トン数は100トンです。

森林組合に、切削チップを整備し、搬出のための作業道の整備の研修会等支援をさらに検討していく。

問 選挙投票環境について。奥出雲町の7月の参議院議員選挙の投票率は68%であり、3年前の参議院選挙の72%に対し10%以上下回る低い投票率であった。

4月の町議会議員選挙も投票率は62%で、4年前の町議会選挙の67%を約7%も下回る低い投票率となっているが、投票率低下の原因について。

答 選挙前に全国的に自民党の圧勝という報道も

あり、町民の皆さんが選挙のたびに判断される訳で出てきた数値の結果として重く受けとめたい。

問 町村合併や人口減少、経費削減のため全国的にも投票所の数が50カ所も減少している。

奥出雲町も大きく減らされており、投票環境の悪化も投票率低下の原因の一つであり、高齢化が進む本町においては、投票所への利便確保のため移動支援が必要である。

また、期日前投票宣誓書の事前記入制度と期日前投票所の増設は、

答 川本総務課長 投票所への移動支援と期日前投票宣誓書の事前記入制度については選挙管理委員会が審議、検討していきたい。

期日前投票所の地設については、いろいろな問題があり慎重に判断したい。

問 障がい者優先調達推進法施行に伴い、行政からの委託状況

は。

答 野原福祉事務所長 本町で対象となる施設は3事業所であり、総額125万円の事業費だが今後さらに業務委託や物品の調達を推進していきたい。

問 養護学校高等部の開設状況と、奥出雲の子は奥出雲で育てるという理念から高等部の分教室を。

答 平成27年4月から出雲養護学校高等部の分教室が三刀屋に開設されるが、横田高校の中に可能であれば探っていくかなければならない問題だ。



環境整備が待たれる里山(上阿井地内)